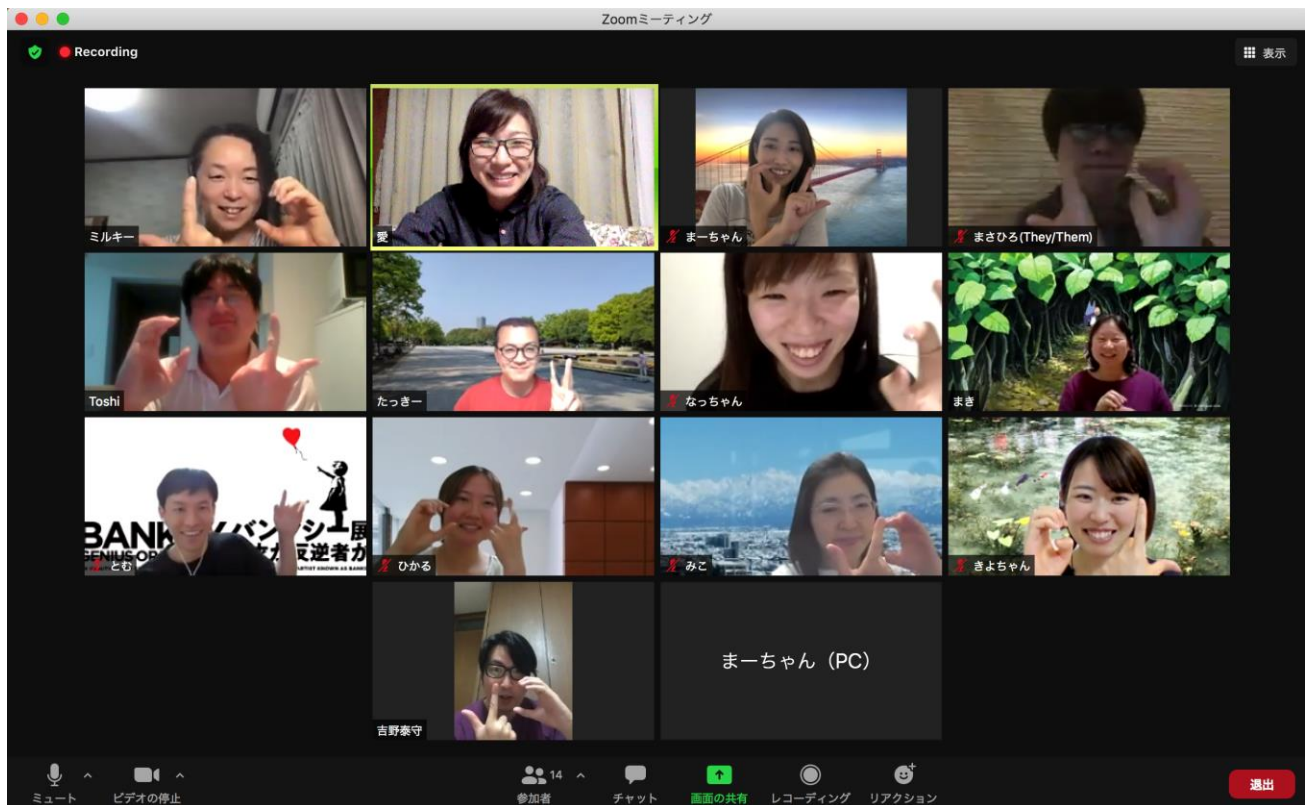


グローバルリーダー創出プロジェクト(GLDP)報告書

<プロジェクトの目的と概要>

「社会を良い方向に変えたい」という情熱をもった青年が、その思いをアクションに変えられるように伴走支援をするのが、本プロジェクトの目的です。NPO 代表、企業人、教師、大学生など様々な人たちで構成された GLDP チームメンバーが、グローバルリーダー（以下、GL）を選出したのち、約半年間、各人の専門分野を生かしながら、その GL に必要と思われるワークショップ、ファンドレイズ、プロモーション等の支援をします。GL はワークショップの中で、社会課題に関わる当事者からのヒアリングをし、自分自身の思いの原点を確認し、アクションプランを作成し、ビジョン、ミッション、バリューと詳細を何度も練り直したのち、約 180 カ国以上から 2000 人の若者が集まる世界最大のユースサミット One Young World(OYW)でプランを発表します。OYW で世界の社会起業家にアドバイスやアイデアをもらった後、アクションプランを再度練り直します。GL がアクションプランを実行し、自走し始めたら、GL 創出プロジェクトは完了です。



オンラインでのミーティングの様子

<プロジェクト立ち上げの理由>

本プロジェクトを起こした理由は、3つあります。1つ目は「社会に貢献したい」と思っている青年が、その情熱を形にするための段階的かつ丁寧な支援をしたかったからです。2つ目は、IYEO メンバーには「誰かのやりたい」を応援する土壌も、各地域で築き上げたネットワークも、青年育成のために自分の持つ専門知識やスキルを無償提供するマインドも、それを通してメンバー自身も成長したいという意欲もあり、社会貢献したい青年を支援するのに最適な環境がすでに揃っていたからです。3つ目は、OYW 日本委員と IYEO との連携

の話が入り、IYEO から青年を OYW に送ることが可能になったからです。OYW を GLDP のワークショップの一つと位置付けることで、GL は世界で活躍する社会起業家からアクションプランにアドバイスもらえるだけでなく、同世代で同じ志をもつ仲間を世界中に持つことができ、それが GL の情熱の炎を燃やし続けると確信したからです。

<GLDP の大きな柱である育成プログラム：ワークショップ>

本年度は、矢島清香さんを GL とし、一連のオンライン・ワークショップをとおして、矢島さんが想いをアクションにつなげるプロセスに伴走しました。プログラムは、「想いの棚卸し」「地域課題の理解／アクションプランの作成」「想いのまとめ上げ／アクションプランと想いの発信」の 3 つのフェーズに分けて実施しました。

【フェーズ 1：想いの棚卸し】

まず、自己理解や他者理解を目的に、自分史づくりと、コミュニケーションカードを用いたワークショップを行いました。矢島さん、および GLDP のチームメンバーが参加し、互いのコミュニケーションを楽しみながら、自分のあり方や、他者との関係性づくりについて考えました。一人ひとりの個性を知ることが、受け容れ合ったり、尊重し合ったりすることにつながるのだと実感する機会となりました。

次に実施したのは、想いを計画に反映する第一歩を踏み出すためのビジョン設計です。ビジョン設計の目的や考え方について学んだ上で、ビジョン（実現したい社会の姿）やミッション（実現したい社会に向けて自分が果たす役割）などを明文化しました。

【フェーズ 2：地域課題の理解／アクションプランの作成】

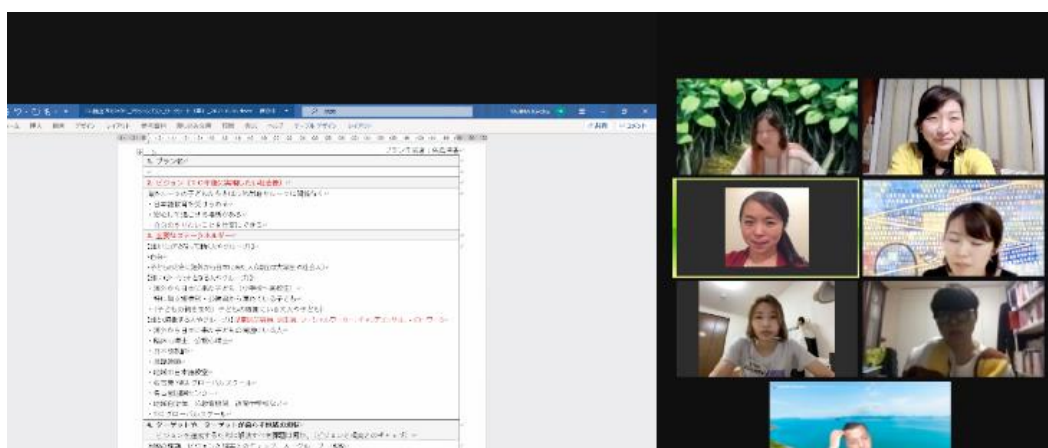
フェーズ 1 で明らかになったビジョンやミッションを具体的な計画につなげるために、アクションプラン作成のための学習会やワークショップを開催しました。学習会では、ターゲットは誰で、どのような価値を提供するのかなどを含め、プラン作成にあたり明確にしておくべきことを、具体的にイメージしました。また、「GL の想い，地球憲章，SDGs との結びつけ」と題したワークショップでは、地球憲章と SDGs について、グループワークやミニレクチャーをとおして学び、プランの根幹となる価値観は何かを考えました。

これらの学習会やワークショップと並行しながら、アクションプラン作成が進められました。加えて、愛知県における多様な文化背景を持つ子どもの現状やニーズについて、矢島さんによる継続的かつ意欲的な調査が行われました。調査結果やアクションプランは、GLDP のチームメンバーと定期的に共有され、フィードバックと改訂を繰り返しながら、プランを練り上げていきました。

【フェーズ3：想いのまとめ上げ／アクションプランと想いの発信】

最終フェーズでは、OYW 既参加者との座談会（資料1）、PDCA に関する学習会、プレゼンテーション演習などを実施しました。それにより、OYW 参加中や参加後の活動をイメージしながら、アクションプランのブラッシュアップや、OYW 参加の準備を進めることができました。また、矢島さんと伴走メンバーが、気軽に相談し合ったり、学び合ったりする機会として、「おしゃべり会」も定期的に行きました。OYW 終了後の報告会では、矢島さんが常に積極的に発信や交流の場を自ら設け、OYW という場を最大限に活かしておられたことや、そこからの学びをアクションプランに反映し、すでに動き始めていることが伝わり、メンバー一同、心から感動しました。

矢島さんという1人の若者の想いが、計画という形になり、アクションとして具現化されるという過程は、関わった全ての人の学びの輪が広がる機会でもあったと感じています。そして、メンバー1人ひとりが、そこで得た学びを日々の活動で活かすことが、さらなる学び合いにつながると確信しています。今後も、多様なメンバーで協働しながら、想いを社会づくりにつなげていきたいです。



<一般の方も交えての学習セミナーの開催> （資料2）

IYEO 会員及び中学生から社会人までの IYEO 非会員の方にも、自然・人間・動物全てのものが相互に関わり合い影響し合っていること、またそのためにどのような視点を持ちリーダーとして活動していけば良いかなどについて、SDGs や地球憲章を絡めながら学習するセミナー（全3回）を主催しました。

【セミナー概要】

「地球の健康」を共創する プラネタリーヘルス・リーダーシップ セミナー～ポストコロナ時代に SDGs のその先へ向かう次世代のためのパーパス思考と価値共創～

ミレニアル・Z 世代が SDGs に関わりながら、2030 年のその先へ向かって「自己成長」と「社会貢献」をいかにしていくのかについて、国立大学法人岡山大学上席副学長の横井篤文氏にご講演（全 3 回：2021 年 8 月 8 日から 2021 年 9 月 5 日）いただきました。

第 1 回『自己編：自己成長したい！～マルチポテンシャルイトとパラレルキャリア～』

自己成長しながら社会貢献を両立するためのキャリア形成および人生設計として、本業でやりたいことを次々と変えていく「マルチポテンシャルイト」や、本業をしながら平行して様々なことに取り組む「パラレルキャリア」の考え方について学びました。

「自己成長⇄社会貢献」サイクルを軸に自分らしくよりよく幸せに生きるために、3つのポイント（価値を提供できるスキルセット、人的ネットワーク、経験によるリアルな自己理解）にある経験の蓄積と偶然を軸足に 360 度好きな方向に踏み出すことのできる状態を作っていくこと、自分らしくよりよいライフキャリアを考えるときに役に立つ「選択肢がある状態」にたどり着くことができること、ウェルビーイング(幸せ)な未来をつくるためには、過去と今にきちんと向き合った自己理解と自己成長こそが大きな契機になることを学びました。

1
自己編

プラネタリーヘルス・リーダーシップセミナー

自己成長したい！

～マルチポテンシャルとパラレルキャリア～



自己成長しながら社会貢献を両立するためのキャリア形成
および人生設計として、本業でやりたいことを次々と変えていく
「マルチポテンシャル」や、本業をしながら平行して
様々なことに取り組む「パラレルキャリア」の考え方を学びます。



2021.8.8(Sun)
14：00開始16：00終了（予定）



横井 篤文 氏
 国立大学法人岡山大学上席副学長
 ユネスコチエア「持続可能な開発のた
 めの研究と教育」チェアホルダー
 地球憲章国際審議会委員（在、国連平
 和大学）
 一般社団法人One Young World Japan
 Committee理事

セミナーのバナーチラシ

第2回『思考編：社会貢献したい！～プラネタリーヘルスと地球憲章～』

地球の健康という意味をもつプラネタリーヘルスと2000年に決定された持続可能な未来のための価値や原則を明らかにした地球憲章の解説を通して、「今あるものをありたい姿につなぐ」社会貢献活動の思考方法について学びました。

「社会貢献とは、よりよい社会を作るための行動であるが、自分（人類）の視点で社会貢献するのではなく、『人類・動物・生態系・地球』視点での社会貢献が求められている」「人類のための社会貢献は、もはや求められておらず、プラネタリーヘルス（地球の健康）を前提とした活動が必要であり、それがポストコロナ時代のニューノーマルである」と学びました。

『行動編：共育共創したい！～エンゲージメントとインナーブランディング～』

大学や地域の地元企業、および次世代によるベンチャー企業などで実践してきた横井氏の事例を参考に、組織内での浸透活動や巻き込みに関する「インナーブランディング」について学びました。

インナーブランディングを理解するために、3つのステップに分け、さらにそれぞれを細分化した図表を実際の事例に照らし合わせながらご説明いただきました。また第1回の自己理解、第2回の社会貢献を学んだことを経て、個々人と組織や社会、地球と連動して、100年時代を生き抜いていくために、幸せな未来をつくるためにキャリア形成と人生設計を行っていくことが求められることを学びました。



セミナーの様子

全3回シリーズを通して、中学生から社会人の方まで合計80名の方がご参加くださいました。3回全てに出席された方には、IYEO、GLDP、岡山大学ユネスコチェア「持続可能な開発のための研究と教育」のロゴが入った修了証をお渡ししました。

<GL 矢島さんのプロジェクト開始>

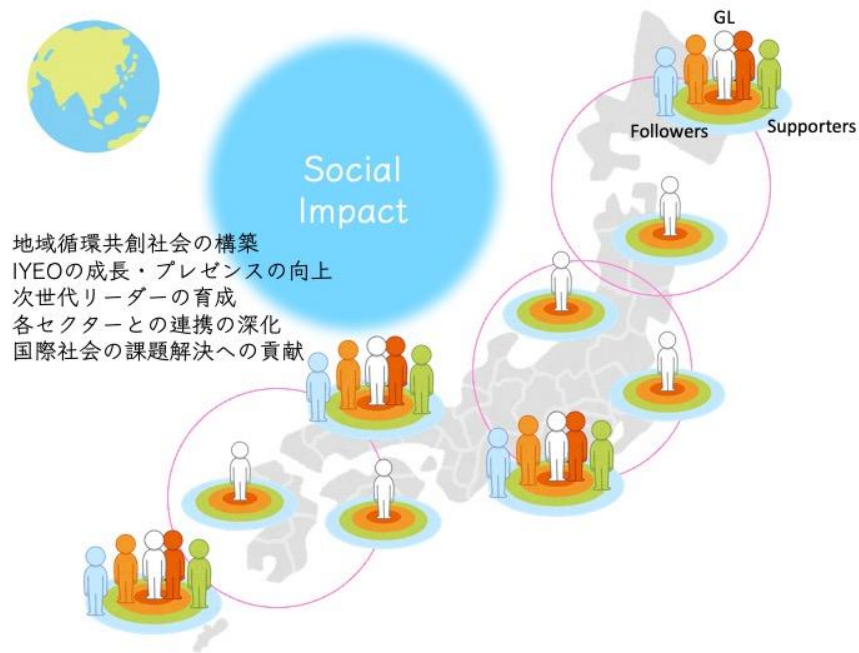
本年度GLに選出された矢島清香さんは、愛知県を拠点に、多様な文化背景を持つ子どもが活躍できる社会の実現に向けて「にほんごXこころプロジェクト」を始めました。矢島さ

んは自分自身で教育委員会にヒアリングをしたり、地域のNPO代表や日本YWCA(The Young Women's Christian Association of Japan) の職員の方にアクションプランを話したりしたことで、その人達が新たな人を紹介してくれたりアイデアや場所を提供してくれたりと、少しずつ前進しています。矢島さんは、「GLDPで学んだことはたくさんあるが、GLDPは自分の考えを安心して話せ、困ったらいつでも相談できる場所となった。今度は自分自身が次のG Lをサポートしたい」とも語っています。

<これから>

GLDPはこれからも、一人一人のグローカルリーダーに丁寧に伴走していきます。一人一人に時間をしっかりとかけるため、私たちが創出できるグローカルリーダーは多くはありませんが、私たちが関わるグローカルリーダー達が、何年、何十年もかけてこれから多くの人々や環境に良いインパクトを与えると信じています。そのインパクトがどんどん広がっていくように、今後も多くのグローカルリーダーを育成するように尽力いたします。

最後になりましたが、グローカルリーダー創出プロジェクトを、日本青年国際交流機構の IYEO育成ファンド助成事業に採択していただいたことに、この場を借りて深くお礼を申し上げます。



GLとそのプロジェクトが与える社会的影響のイメージ



One Young World 2021 Munich で IYEO のロゴがパートナーとして OYW ウォールに掲載されました。